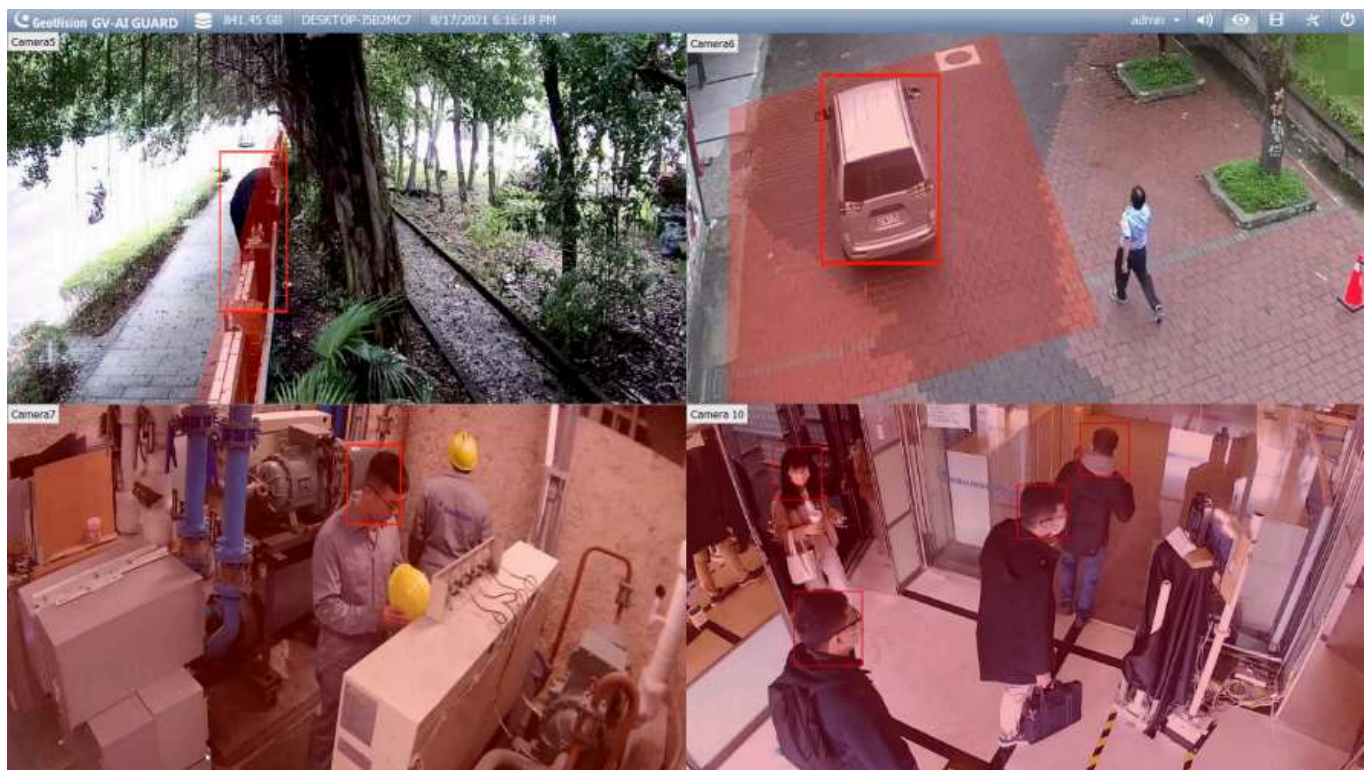


GV-AI Guard



GV-AI Guardは、AI画像解析技術による映像管理ソフトウェアです。

指定したエリアの侵入を検知する「**侵入検知**」、立ち入り禁止のエリアでの滞留/駐車を検知する「**徘徊検知**」、工場や工事現場などでヘルメット/ベストの着用の有無を検知する「**個人用保護具検知**」、ウイルスの感染症を防ぐ、マスク着用の有無を検知する「**マスク検知**」、「**ソーシャルディスタンス検知**」、「**混雑密度検知**」、スピード違反車両を検知する「**スピード違反検知**」、火災などの煙・炎を検知する「**煙/炎検知**」などの機能を備えています。

アドバンスAI画像解析技術により、GV-AI Guardは、交通監視環境を提供します。これには、以下が含まれます：より正確な「**アドバンス侵入検知**」、「**アドバンス徘徊検知**」、指定した境界線/方向に移動する人や車両を検知する「**クロスライン検知**」、指定エリアの出入りを検知する「**入口/出口範囲検知**」、人や車両の「**目標物カウント**」、指定エリアでの「**車両停止義務検知**」、逆方向に移動する車両を検知する「**逆走検知**」。これらの機能により、GV-AI Guardは安全な環境作りを支援します。

GV-AI Guardは特定の状況を識別し、人や車の「**侵入・ルール違反**」時に発報し、管理者に潜在的な問題を即時通知することができます。GV-AI Guardは、施設・道路や工事現場の安全を守り、更には新型コロナウイルス感染症から皆様の健康を守る最適な製品です。

主な特徴

- PVD動体検知：最大16CHで移動物体から人や車両の動きを正確に識別する「**動体検知**」
(GV-AI Acceleratorモジュールを使用すると最大32CHまで可能)
- AI画像解析用のカメラ16台に対応、アドバンスAI画像解析用のカメラ8台に対応
- 指定したエリアに侵入する人や車両を検知する「**侵入検知**」
- 人や車両が立ち入り禁止のエリアでの滞留/駐車を検知する「**徘徊検知**」
- 人と人の距離を測定し、密発生を検知する「**ソーシャルディスタンス検知**」
- 工場や工事現場などでヘルメット/ベストの着用の有無を検知する「**個人用保護具検知**」
- マスクの着用の有無を検知する「**マスク検知**」
- 人や車の過密状態を検知する「**混雑密度検知**」

- 車両ナンバーを読み取る「LPR検知」(日本ナンバープレートには対応していません)
- 指定した境界線/方向に移動する人や車両を検知する「クロスライン検知」
- 指定したエリアへの出入りを検知する「入口/出口範囲検知」
- 人や車両をカウントする「目標物カウント」
- 指定したエリアで、一時停止を行わず、安全規制に違反した車両を検知する「車両停止義務検知」
- 指定した境界線を逆方向に通過した車両を検知する「逆走検知」
- イベントアラート：アラーム出力、メール通知、コンピューターノイズアラーム、LINE / Telegram通知
- AIイベント時のライブ映像ポップアップ
- AIイベントによる検索に対応
- AIイベントの検知スケジュール
- クラウドベースのGV-Cloud VMSとの統合によるAIイベントモニタリング

最小システム要件

OS	64-bit	Windows 10 / Windows 11 / Server 2016 / Server 2019 / Server 2022
CPU		Intel Core i7-11700 プロセッサー
メモリー	ベーシックAI分析	16 GB (8 GB x 2)
	アドバンスAI分析	32 GB (16 GB x 2)
	PVD動体検知 (GV-AI Accelerator モジュール搭載)	32 GB (16 GB x 2)
グラフィックカード		Intel UHD Graphics 750

注:

1. AI画像解析には、第11世代インテルCore i7/i9以上のグラフィックプロセッサの利用が必要になります。(モニターがPCに接続されている場合のみ)
2. GV-AI Guardは、Intel Coreプロセッサのみに対応しています。他のブランドのCPUには対応していません。
3. GV-AI Guardは仮想マシンのインストールに対応していません。
4. システムの効率性を向上するため、少なくとも7200RPM以上、平均R/W速度が110MB/s以上をお勧めします。デスクトップレベルのハードディスクを使用すると、システムの効率に影響を与える可能性がありますので使用しないでください。
5. 魚眼補正機能を使用する場合は、DirectX 10.1以上に対応のグラフィックスカードが必要です。
6. H.265のデコードと顔画像での顔認識イベントの検索には、オンボードGPUを搭載する第6世代Intelデスクトッププロセッサ (Skylake) 以降が必要です。
7. 最大32チャンネルのPVD動体検知を行うには、PCにGV-GV-AI Acceleratorモジュールがインストールされ、PCのRAMが16GB以上、第11世代インテルデスクトッププロセッサ以上であることを確認してください。
8. GV-AI Acceleratorモジュールは最大1台までに対応しています。
9. 本システム要件はリモート接続と画像解析を無効にした状態で、24時間録画の設定(ライブビューのみ)で定義されています。

ライセンス

GV-AI Guard Basicバージョンは有料ソフトウェアです。

ソフトウェアの起動には、1チャンネル以上のAI分析を備えたGV-USB dongleの使用が必要になります。

ライセンス タイプ	GV-USB dongle	<ol style="list-style-type: none"> 1. ベーシック/アドバンスAI分析：16チャンネル(1つのアドバンス機能には2つライセンスが必要) 2. 他社製IPデバイス：32チャンネル 3. LPR認識(日本ナンバープレート非対応)：32チャンネル 4. HD DVR：32チャンネル
	ソフトウェア ライセンス	体験版 ：4チャンネル(ライセンスキーが必要)
各ライセンスの増分	1チャンネル	
dongleタイプ	外付けタイプと内蔵タイプ	

注:

1. GV-USB dongleには、2つのタイプ「内蔵dongle」と「外付けdongle」があります。Windows がクラッシュまたはフリーズしたときに PC を再起動するハードウェアウォッチドッグを使用するには、内蔵dongleを使用することをお勧めします。
2. HD-DVRライセンスはGV-AI Guard V2.0以降のみに対応しています。
3. UA-HD DVR（アナログチャンネルのみに対応）の接続には、HD DVRライセンスが必要になります。
4. UA-IPカメラの接続には、他社製ライセンスが必要になります。
5. 体験版のライセンスキーについては、弊社営業担当までお問い合わせください。
6. 体験版はソフトウェアライセンスのみに対応しています。初期ライセンスに関する詳細内容は「[GeoVision Software Licensing](#)」をご参照ください。

オプション ライセンス

オプションの組み合わせ	<ol style="list-style-type: none"> 1. GV-AI Guard + GV-POS S/W Capture (4台のシリアルPOSおよび32台のネットワークPOSデバイスを選択可能) 2. GV-AI Guard + GV-POS Text Sender (1、2、4、8、12、32ポートから選択可能)
-------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

仕様

ビデオ解像度	1チャンネルあたり最大12メガピクセル	
ビデオコーデック	H.264, H.265	
フレーム レート	ベーシックAI分析/ PVD動体検知	キーフレーム(各チャンネルを1秒に1回検出)
	アドバンスAI分析	フルフレーム
	録画チャンネル	最大32チャンネル
AI分析チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> ● 動体検知：最大16チャンネル/最大32チャンネル(GV-AI Acceleratorモジュールを使用すると最大32CHまで可能) ● ベーシックAI分析：最大16チャンネル ● アドバンスAI分析：最大8チャンネル 	

検出対象	人 / 車両 (自動車、バス、トラック、自転車、バイク)
AI分析機能	<ul style="list-style-type: none"> ● ベーシックAI分析：侵入検知、徘徊検知、個人用保護具検知、ソーシャルディスタンス検知、マスク検知、混雑密度検知、LPR設定、スピード違反検知、煙/炎検知 ● アドバンスAI分析：高度侵入検知、高度徘徊検知、クロスライン、入口/出口範囲検知、目標物カウント、車両停止義務検知、逆走検知
最大検出数	<ul style="list-style-type: none"> ● PVD動体検知、徘徊検知、侵入検知、ソーシャルディスタンス検知、混雑検知：1チャンネルあたり30件 ● マスク検知、個人用保護具検知：1チャンネルあたり10件 ● アドバンスAI機能：1チャンネルあたり30件
イベント通知	アラーム出力、メール通知、パソコンのノイズアラーム、LINE通知、Telegram通知 * LINEのポリシー変更により、GV-AI-FRでのLINE Notifyは3月31日までの対応となります。2025年4月1日以降、LINE Notifyの全機能が利用できなくなります。
言語	英語、繁体字中国語

注:

1. GV-Center V2 / GV-Vital Sign Monitor V18.4.0以降では、GV-AI GuardのAIおよびPVDイベントに対応していません。
2. 仕様は予告なく変更される場合があります。

GPUデコーディング仕様

GPU(Graphics Processing Unit)デコードは、CPUの負荷を下げ、システムがサポートするトータルフレームレートを向上させることができます。

GV-AI Guardは、インテルのオンボードGPUのみに対応しています：第11-14世代インテル Core i7 / i9 デスクトップ・プロセッサ。

オプション

オプションデバイス	詳細
GV-AI Accelerator Module	GV-AI Guard 2.0以降のみに対応しています。GV-AI Acceleratorモジュールは、M.2.キーコネクタを搭載し、第11世代CPU以降のバージョンと互換性があります。 GV-AI Acceleratorモジュールを使用すると、ユーザーは最大32チャンネルのPVD動体検出を有効にすることができます。詳細は「 GV-AI Acceleratorモジュールのデータシート 」をご参照ください。
GV-Data Capture	GV-Data Captureは、ケーブルまたはネットワーク接続を介してPOSシステムとGeoVision監視システムを統合することができます。
GV-IO Boxシリーズ	GV-IO ボックスシリーズ (4ポート / 8ポート / 16ポート) は、それぞれ4点/8点/16点のセンサー機器入力とリレー出力を備えており、DC出力電圧とAC出力電圧両方に対応します。オプションでイーサネットモジュールと4Eに対応し、さらにPoE、TCP / IP およびRS-485 接続にも対応します。

GV-Joystick V2	GV-Joystick V2によりGVシステムに接続されているPTZカメラを直感的に操作することが可能となります。GVシステムに接続して単独またはGV-Keyboarにの接続で使用することも可能です。操作性を向上させることができます。
GV-NET/IO card V3.2	GV-NET/IOカードV3.2は、入力x4とリレー出力x4を備えており、DC出力電圧とAC出力電圧両方に対応します。USBポート搭載。
